



上石小だより

～思いやりのある やさしい子 かしこい子 たくましい子～

第2号

令和3年4月30日
練馬区立上石神井小学校
校長 片山 順也

夢はかなう

校長 片山 順也

日本時間の令和3年4月24日午後6時過ぎ、クルードラゴンが国際宇宙ステーション（ISS）にドッキングし、星出彰彦飛行士と、既にISSに滞在していた野口聡一飛行士が合流したというニュースがありました。日本人の宇宙飛行士がISSに同時に滞在するのは、野口聡一飛行士と山崎直子飛行士が同時に滞在して以来、11年ぶりのことだそうです。

この宇宙飛行士の野口聡一さんは、小学校1年生の時の文集に「ぼくはロケットのそうじゅうしになりたい」と書いていたそうです。小学校1年生の時に抱いた夢をもち続けて、大人になってそれを叶えるということは、そう簡単に誰もができることではないと思います。

では、野口さんは、どのようにして宇宙飛行士になる夢を叶えたのでしょうか。野口さんが宇宙飛行士になってからの、あるインタビューでは、「宇宙飛行士になる準備は特になく、『夢を諦めない』」ことが大切であるという話をしています。

また、野口さんは、大きな夢を追うときは、「遠くの大きな目標を見失わないようにする」と、「今日やれることをやる」ということとのバランスをとることが大事だとも語っています。

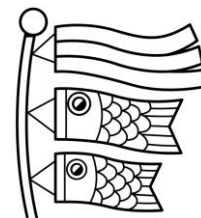
上石神井小学校のみなさんも、それぞれの「夢」を胸に抱いていることだと思います。その夢を叶えるためには、この野口さんの言葉が、大きな力になるのではないのでしょうか。

現在のコロナ禍で、世の中全体が閉塞感をもちやすい状況になっているところです。そのような状況であるからこそ、学校生活においては、いつでも子供たちが夢をもてるような教育活動を展開していくとともに、子供たちが夢を叶えるための力を一歩ずつ着実に身に付けさせていくことが、求められていると考えています。

さらに、野口飛行士には、次の夢があるそうです。それは、実際に月に行って「お月見」ならぬ「お地球見」をすることだそうです。「夢」に終わりはないのですね。これを機会に、ご家庭で、お子さんと「夢」について語り合ってみてはいかがでしょうか。

5月行事予定

- | | |
|---|------------------------|
| 6 (木) 耳鼻科検診 (全学年) | 14 (金) 4時間授業、心臓健診 (1年) |
| 7 (金) 離任式 | 18 (火) 尿検査 (予備日) |
| 10 (月) <u>交通安全教室 (1.3.5年) → 6 / 3 に延期</u> | 19 (水) 聴力検査 (1年) |
| 11 (火) 視力検査 (6年) | 20 (木) 眼科検診 (全学年) |
| 12 (水) 視力検査 (4年) | 21 (金) 視力聴力検査 (2年) |
| 13 (木) 視力検査 (1年) | 24 (月) クラブ |
| <u>避難訓練 (地区班編成、集団下校)</u> | 27 (木) 国、学力調査 (6年) |
| <u>→延期の場合あり</u> | 31 (月) 委員会 |



※感染症の流行状況によっては、予定が急遽変更になる場合があります。ご承知おきください。

※毎年9月、区一斉防災訓練として上石神井中学校と同日に引き渡し訓練を実施していますが、新型コロナワクチンの接種会場となっている関係で今年度に限り、それぞれ別日に実施となります。兄弟が在籍している児童の保護者の方はご了知ください。